

鹿屋市立大黒小学校 特別の教育課程の実施状況等について

1 特別の教育課程の概要

本校では、文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下記の時数を確保し、英語教育を推進しています。

英語大好きな子どもたちをイメージし、小学 1 年生から児童の興味・関心や理解度に合わせた英語を使って段階的に指導し、小学校 6 年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎を育成することを目指しています。

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年 (教科)	6 年 (教科)	総時数
年間時数	2 0	2 0	3 5	3 5	7 0	7 0	2 5 0
使用する教材等	オリジナル	オリジナル	Let' s Try!1	Let' s Try!2	教科書 My Book	教科書 My Book	

2 本校の教育目標

- (1) 基礎学力の定着と一人一人のよさや可能性を伸ばす教育活動の推進 (学力向上)
- (2) 自他の生命と人権を重んじる教育活動の推進 (心の教育の推進, 人権教育の推進)
- (3) 学ぶ場にふさわしい教育環境作りの推進 (教育環境の整備・充実)
- (4) 開かれた学校づくりの推進※地域との連携：学校運営協議会, 説明・結果責任

3 本校の英語教育の実践について

複式学級のため、これまで A 年度・B 年度の指導計画を作成し英語教育を行ってきた。低・中学年は今までどおり行っているが、5・6 年生では、複式の授業形態も取り入れるように指導計画を立てている。まだ完全に実施するのは難しいが、ALT や JTE の方々と連携を図って 6 年生までに身に付けるべき内容は確実に理解させるように取り組んでいる。

4 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価 (児童) の結果から

英語の授業は好きですか。

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
好き	1 0 0 %	3 3 %	0 %	0 %	2 5 %	3 3 %
どちらかというと好き	0 %	3 3 %	0 %	0 %	0 %	3 3 %
あまり好きではない	0 %	3 3 %	4 3 %	0 %	5 0 %	2 2 %
好きではない	0 %	0 %	5 7 %	1 0 0 %	2 5 %	1 1 %

(2) 自己評価（教員）の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
67%	33%	%	%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ☐ 英語に慣れ親しみ，英語への苦手意識をなくす。
- ☐ コミュニケーション能力を高める。
- ☐ ネイティブな発音に触れさせ，耳を鍛える。
- ☐ グローバル社会の対応
- ☐ 異文化理解やことばへの関心の高まり

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは，英語の授業が好きですか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
14%	32%	36%	18%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ☐ 英語を話せるようになってほしい。
- ☐ 楽しく学んでほしい。
- ☐ 外国や外国語に抵抗をなし，身近に感じてほしい。

(4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
100%	%	%	%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ☐ ますます国際化が進んでいく中で，将来の役に立つようになればよい。
- ☐ 英語は世界の共通語になっているので、話せるようになると将来の可能性が広がっていくと思う。

5 今後の取組について

5・6年生の複式授業の研究を進めるとともに，中学年以上の英語への苦手意識を改善できるように授業を工夫していきたい。また，英語の授業だけでなく日常的に英語に触れる環境作り（設営・英語でのあいさつ・英語の本・・・）に努めていきたい。